

2025年ショパン国際ピアノコンクール・入賞&聴衆賞!

ピョートル・アレクセーヴィチ ピアノリサイタル

Program

オール・ショパン・プログラム

前奏曲 Op.28

バラード第1番 Op.23

バラード第2番 Op.38

バラード第3番 Op.47

バラード第4番 Op.52

ショパンの祖国

ポーランドが育んだ俊英

入賞後東京での初リサイタル!



Piotr Alexewicz Piano Recital

2026.12.3 (木) 19:00開演
(18:15開場)

● 浜離宮朝日ホール

一般発売: 8月14日(金) 10:00~

<全席指定> [S席] 7,500円 [A席] 6,500円 [U22] 3,000円

主催: テンポプリモ

(テンポプリモのみで取扱)

後援: ポーランド広報文化センター / 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

株式会社 河合楽器製作所



プレイガイド

◆チケットぴあ ◆イープラス

◆テンポプリモWEB

◆朝日ホール・チケットセンター(電話のみ)

03-3267-9990 (10:00~18:00/日祝除く)



※やむを得ない事情により、出演者・曲目等変更になる場合がございます。※未就学児入場不可

お問い合わせ

テンポプリモ *Tempo Primo* 03-3524-1221 (平日10:30-17:00) www.tempoprmo.co.jp

Piotr Alexewicz Piano Recital

「彼は同世代の中で最も有望なピアニストの一人である。」

— ハンスイェルク・シェレンベルガー (元ベルリンフィル・オーボエ奏者)

「ピョートルは、独自のヴィジョンを持ち、
卓越したピアニズムを身につけた成熟した演奏家であり、
豊かな感受性を備えている。」

— ニコライ・デミデンコ (ピアニスト)

2025年ショパン国際ピアノコンクールで、ポーランド人で唯一入賞を果たし、さらに聴衆から圧倒的な支持を受けて聴衆賞を受賞したピョートル・アレクセーヴィチ。華やかな技巧を競うものではなく、一音一音に詩情を宿し、自然な歌心でショパンの心を語りかけるその演奏は、世界中の聴衆を魅了し、「ショパンの精神を受け継ぐ演奏」と高い賞賛を集めた。

祖国を離れてなお、生涯にわたり故郷への想いを作品に刻み続けたショパン。その音楽を、同じポーランドの風土と言葉、文化の中で育った若きピアニストが奏でるとき、楽譜の奥に息づくショパンの魂が、私たちの前に鮮やかによみがえる。

息をのむ静寂、心を震わせる繊細な響き、そして心に染み入る抒情——そのすべてが、豊かな音響で知られる浜離宮朝日ホールを満たす。ショパンを愛するすべての人に届けたい、珠玉のリサイタル。

ピョートル・アレクセーヴィチ Piotr Alexewicz

ピョートル・アレクセーヴィチは、同世代のポーランド人ピアニストの中で最も認められている一人である。第19回国際フレデリック・ショパン・ピアノコンクール(ワルシャワ)において第5位、聴衆賞、並びに多数の特別賞を受賞し、同年には米国ヒルトンヘッド国際ピアノコンクールで第2位を獲得して、世界的なピアノ界における地位を確立した。さらに、第17回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールではセミファイナリストに選ばれている。

また、フレデリック・ショパン協会主催の第48回および第50回ナショナル・ショパン・ピアノコンクールで2度優勝し、パリやブカレストのコンクールでも上位入賞を果たしている。2024年には、ピアノ・テキサス・アカデミー&フェスティバルの協奏曲コンクールで優勝し、フォートワース交響楽団とミゲル・ハース＝ベドoya指揮のもと、ブラームス作曲『ピアノ協奏曲ニ短調 Op.15』を演奏した。同年、スイスで開催されたシェンク・コンクールでは、史上初めて全特別賞(聴衆賞・オーケストラ賞を含む)を獲得した。

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

「新橋駅」JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1,2番出口)

/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

WEBサイト: <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

浜離宮朝日ホール

